

これまでの取組み

令和7年度は以下の検討サイクルに基づいて、街づくりルールの検討を実施しました。



一緒に駅周辺のまちについて考えよう！

成城まちキャンでは、皆さまのご意見を踏まえ、街づくりのルールを検討していきます。今後もイベントやまちウェブプラザで皆さまの声をお聞かせください。



【問合せ先】 世田谷区砧総合支所街づくり課 (担当：戸田、野々村、尾崎)
 〒157-8501世田谷区成城6-2-1 TEL03-3482-2594 FAX03-3482-1471

成城学園前駅周辺地区 第8号 2026(令和8)年3月

街づくりNEWS ~駅周辺の未来に向けて~



駅周辺のまちづくりを考えるイベントの開催報告

12月20日(土)にイベント「駅周辺のまちづくりを考える」を開催しました。会場となった駅南口小広場には、400名を超える方々にご来場いただき、「壁面の位置制限や建築物の用途制限」について多くのご意見を頂戴しました。詳細は右の二次元コードからご確認くださいませので、ぜひご覧ください。



成城まちキャン(第4回)を開催しました！

「成城駅前未来まちづくりキャンパス(略称：成城まちキャン)」では、駅周辺の街づくりルールの変更にに向けた検討を行っています。今回は「壁面の位置制限・建築物の用途制限」について意見交換しました。意見交換の内容はP.2~3をご覧ください。



皆さまからのご意見をお聞かせください！

スマホからまちづくりに参加できる「成城学園前駅まちウェブプラザ」にて、まちキャンで検討している街づくりのルールについて、ご意見を募集しています。皆さまの投稿、お待ちしております！

まちはウェブプラザ 意見投稿はこちら

登録・フォローは、二次元コードからアクセスし画面右上の **会員登録** をクリック！

おかげさまでフォロワー数 **120名** を突破！

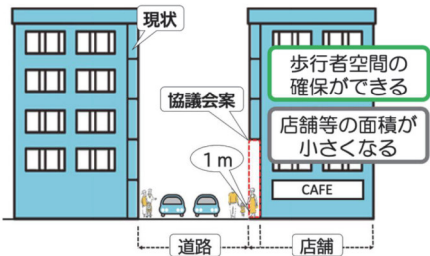
これまでの検討内容についても、ご意見募集中！



まちキャンイベントでの意見や道路①～⑥の通行量などを共有し、次の2つのルールについて検討しました。

「壁面の位置制限」のルール

区画道路に面する建物は、1・2階部分を道路から1m以上離す

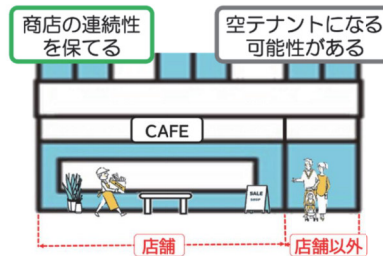


まちキャンでの意見概要

- 壁面後退はみどり創出の空間としても活用できる
- 壁面後退が狭小敷地に及ぼす影響や道路等の整備見込み、路上駐車をはじめとした交通マナーの問題があるため、ルール適用により課題解決を図るかは慎重にすべき
- 歩行者優先のまちづくりをしないと安全面や賑わい面も発展しないと思うし、子育て世代にとっても住みやすくない
- 駅周辺が楽しんで過ごせる場所になることが大事

「建築物の用途制限」のルール

区画道路に面する建物は、1階部分の間口の半分以上を住宅等にすることを禁止する



まちキャンでの意見概要

- 賑わいの連続性が途切れてしまうのはもったいない
- 商店などができれば街との関わりができて、街の一部になるのではないかと
- 住民としては土日に子連れでも行けるようなお店が増えると良い
- 南口小広場を子育てに活用できると良い。イベント的に様々なことができると面白いと思う

道路①・②

- 壁面後退しても路上駐車が増えてしまう可能性もある
- 小さい敷地も多くルール適用が難しいという意見が多い中で路上駐車対策等の交通マナーの面に対応できるのではないかと

道路③

- 道路が広いので、歩きやすさというより緑化スペースがあると良い
- 道路整備が予定される中で、壁面後退まで行うか検討が必要

道路④

- 歩道が整備済のため、狭さや危険を感じたことはない

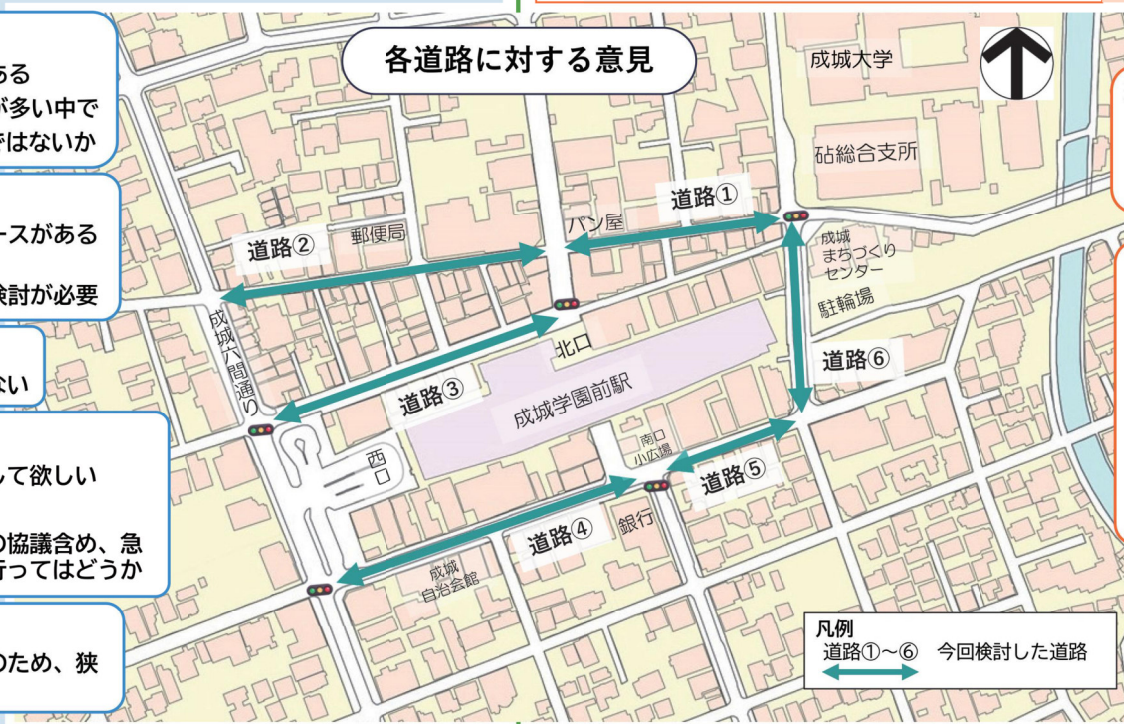
道路⑤

- 歩行者・自転車・車の通行が多いので、壁面後退して欲しい
- 道路①②のように一方通行ではないので危険
- 車両進入禁止の時間規制も考えられるが、警察との協議含め、急には難しい。まずは社会実験としてのイベントを行ってはどうか

道路⑥

- 駐輪場があるので人通りが多いが、歩道が整備済のため、狭さや危険を感じたことはない

各道路に対する意見



道路①・②・⑤

- 現状はほとんど店舗だと思うが、現状維持のためにもルールは必要だと感じる
- 1階部分が住宅ばかりになると寂しい

道路⑥

- 店舗が増えると併せて路上駐車が増え、交通障害が起きる懸念があり、ルールは導入しなくて良いと感じる
- 道路沿道の大部分が駐輪場やバックヤード、まちづくりセンター等で占められている状況を踏まえた方が良い
- 景観等を踏まえたときに、出店したいというテナントがいるのか疑問である

※道路③および④は、すでに「建築物の用途制限」が適用されています。

凡例
道路①～⑥ 今回検討した道路

まちキャンでの方向性

- 歩行者優先の駅周辺を目指して検討していく
- 道路④、⑥は、アンケート結果や歩道整備の状況等を踏まえ、検討対象から外す
- 道路①、②、③、⑤は、壁面後退部分を賑わい創出のための滞留空間や緑化スペースとして活用する視点や、制限ではなくスタイルブックにより誘導する手法も併せながら継続検討していく

まちキャンでの方向性

- 道路⑥は、テナントのニーズや車で来店者による交通障害の懸念、アンケート結果等を踏まえ、検討対象から外す
- 道路①、②、⑤は、現状のまちの賑わいを維持していくため、ルールを導入していく方向性で今後検討していく